

令和8年度 弥栄小学校の教育

学校教育目標

心豊かに たくましく 未来を創る弥栄っ子の育成

(や) やさしく 思いやりのある子 (さ) さいごまでやりぬく 心も体も元気な子 (か) かんがえ 高めあう子

学校教育重点目標

「描き」「やりきり」「創り出す」
～学びを創ろう・くらしを創ろう～

えが 描き

- 「やってみたい。」
 - 「解決したい。」
 - 「こんな方法で」
 - 「勉強したことを使って」
 - 「学校・学級の問題はこれだ。」
 - 「あいさつが気になるな。」
 - 「言葉づかいが悪いな。」
 - 「こんなことをやってみよう。」
- ◎学習課題や学習内容、取組の意味や価値を自覚していく。
◎学びと取組の方向性を描く。
◎学級や学校の課題に気づき、改善に向けた取組の方向性を描く

やりきり

- 学びの方向性を大事にしなが
ら、既習事項等を活用しなが
ら、自分の方法で考えきる
(見方・考え方を働かせる)。
- 根拠をもって考えきる、書き
きる、伝える。
- 学級や学校をよりよくするた
めの方法を考えてやりきる。
→くらしを創り出す経験の積
み上げ
→学びや学校生活へのエネ
ルギーとなる。

めざす学校像

- 1 安心して学べる学校
 - 2 信頼される学校
 - 3 よさが発揮できる学校
- ### めざす教職員像
- 1 協働できる教職員
 - 2 信頼を築き、温かい
人間関係を育む教職員
 - 3 学び続ける教職員
 - 4 積極的な研修参加
- 4 自立した職員集団

つく だ 創り出す

- 協働的・対話的な学びの風土
- 多様な見方や考え方、思考・
判断・表現、学びやくらしに
生きて働く知識・技能、多様
な学び方
- 学びとくらしの支えとなる協
働性・自治性
- 良好な人間関係と学校の安定
↓
子どもたちの未来を支える大事
な力となり、心となる。

重点目標実現のために

- 1 ①「学習指導要領の中の指導内容や育成すべき資質能力」と「子どもの見とり」から、②「引き出したい興味・関心、既習活用の見通し、働かせたい見方・考え方を引き出す」。③子どもたちが学習課題や学習内容の意味や価値を自覚させる。④学びの方向性を自分で描く。⑤思考・表現・協働の活性を促していく。を意識した授業展開をめざしてみよう。その中で、困難が予想される子どもたちへの支援をどのようにしかけていくのか考えてみよう。
(描いて やりきって 創り出す授業＝見方・考え方を働かせた主体的・協働的な学習活動)
- 2 結果ではなくプロセスを大事に評価する。プロセスの中にいい学びや取組がある。そこに価値をつけていくことが、よりよい『描き やりきり 創り出す』につながる。
- 3 学習課題について情報収集→分類整理→まとめ・表現 の探究的な学習過程を大切にする。その中で、手段としての学校図書館活用・ICT活用の積極的な推進をめざす。→「描き やりきり 創り出す学び」はいっそう活性化する。
- 4 特別支援のあり方を柔軟に弾力的に検討する(教育課程、関係機関・家庭との連携協働)→その子なりの「描き やりきり 創り出す」学びの実現をめざす。
- 5 生徒指導と児童会のリンクにより、児童主体の自治的な活動を積み、児童主体のくらしの文化を創造する。
目標設定→実践→振り返り→成果・成長への実感→目標設定→実践 このサイクルの中でのくらし創りの確立をめざす。
- 6 「授業のため、学級のための時間を生み出し」また「方針の具体」に向けた業務改善(12月業務改善協議)

心豊かに たくましく 未来を創る弥栄っ子の育成

(や) やさしく 思いやりのある子
(さ) さいごまでやりぬく 心も体も元気な子
(か) かんがえ 高めあう子

が実現されていく！！